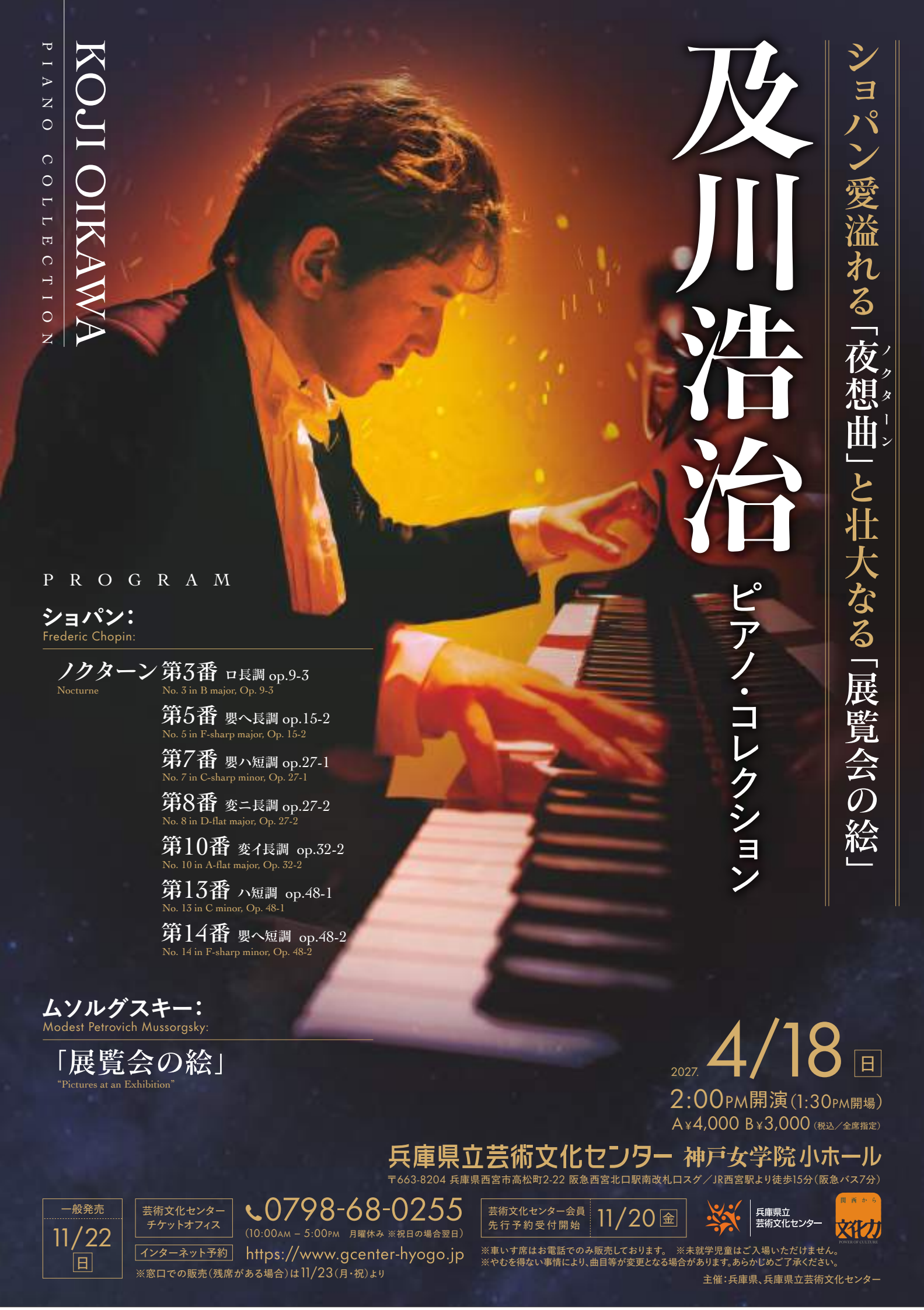

KOJI OIKAWA
PIANO COLLECTION

及川浩治

ピアノ・コレクション

ショパン愛溢れる「夜想曲（ノクターン）」と壮大なる「展覧会の絵」

PROGRAM

ショパン：
Frederic Chopin:

ノクターン Nocturne
- 第3番 ロ長調 op.9-3 — No. 3 in B major, Op. 9-3
- 第5番 嬰ヘ長調 op.15-2 — No. 5 in F-sharp major, Op. 15-2
- 第7番 嬰ハ短調 op.27-1 — No. 7 in C-sharp minor, Op. 27-1
- 第8番 変ニ長調 op.27-2 — No. 8 in D-flat major, Op. 27-2
- 第10番 変イ長調 op.32-2 — No. 10 in A-flat major, Op. 32-2
- 第13番 ハ短調 op.48-1 — No. 13 in C minor, Op. 48-1
- 第14番 嬰ヘ短調 op.48-2 — No. 14 in F-sharp minor, Op. 48-2

ムソルグスキー：
Modest Petrovich Mussorgsky:

「展覧会の絵」
"Pictures at an Exhibition"

2027. 4/18 日
2:00PM開演（1:30PM開場）
A¥4,000 B¥3,000（税込／全席指定）

兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院小ホール
〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22 阪急西宮北口駅南改札口スグ／JR西宮駅より徒歩15分（阪急バス7分）

一般発売 11/22 日

芸術文化センター チケットオフィス
0798-68-0255
（10:00AM – 5:00PM 月曜休み ※祝日の場合翌日）

インターネット予約
https://www.gcenter-hyogo.jp

※窓口での販売（残席がある場合）は11/23（月・祝）より

芸術文化センター会員 先行予約受付開始 11/20 金

※車いす席はお電話でのみ販売しております。 ※未就学児童はご入場いただけません。
※やむを得ない事情により、曲目等が変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

兵庫県立芸術文化センター
関西から文化力 POWER OF CULTURE

主催：兵庫県、兵庫県立芸術文化センター

及川浩治

ピアノ・コレクション

KOJI OIKAWA

PIANO COLLECTION

情熱のピアニストが魅せる、作品の魂とドラマ



©Ayumu Gombi

数々の名演を聴かせてくれた及川浩治が今回取り上げるのは、ピアノの詩人ショパンが遺した「ノクターン」。優美な旋律の裏に情熱を秘めた第3番や第5番、悲劇的で時折ゾクッとするような激しさや憂いを含んだ第13番など、曲調や調性を吟味して選曲された名曲7曲はまるで組曲のよう。一曲ごとに異なる夜の表情を、精神的・感情的な高ぶりを深く読み解く及川のアプローチが期待されます。

後半は、ムソルグスキーの代表作「展覧会の絵」。及川は2003年から2004年にかけて「展覧会の絵」をたびたび取り上げていましたが、今回はそれ以来となる23年ぶりの演奏です。友人の遺作展を歩く「プロムナード」に始まり、不気味な小人、輝くパリの市場、そして圧巻の「キーウの大門」へ、5つのプロムナードを挟みながら10枚の絵画を音楽で巡ります。及川のダイナミックな演奏は、オーケストラさながらの色彩豊かな音の渦でホール全体を圧倒するでしょう。美しい夜の詩と壮大な音の展覧会、贅沢な音楽の旅へと誘います。

PROFILE

4才からピアノを始める。1984年ヴィオッティ・ヴァルセイジア国際音楽コンクールで第1位受賞。1985年、国立音楽大学に入学。翌1986年にブルガリア国立ソフィア音楽院に留学。1987年にアレクシス・ワイセンベルクの公開セミナーに参加し、ワイセンベルク本人の意向により設けられた最優秀特別賞を受賞、練習用のグランドピアノを授与された。1990年にマルサラ国際音楽コンクールにおいて第1位受賞。また同年、第12回ショパン国際ピアノ・コンクールにおいて最優秀演奏賞（Honourable mention）を受賞。1992年、日本国際音楽コンクールにおいて第2位を受賞している。

1995年にサントリーホールにてデビュー・リサイタルを行い、同年ラムルー管弦楽団定期演奏会（佐渡裕指揮、サル・プレイエル）に招かれパリ・デビューを飾る。1997年よりミュージック・シェアリング（旧みどり教育財団）による「レクチャー・コンサート」でヴァイオリニスト五嶋みどりと全国各地の小学校、養護学校などで演奏。1998年、札幌PMF（パシフィック・ミュージック・フェスティバル）に出演。1999年のショパン没後150年には、「ショパンの旅」というタイトルのコンサート・ツアーを行ない3万5千人をも動員するショパン・イヤー最大規模のイベントとなった。2002年6月ワイマール州立歌劇場管弦楽団の日本ツアーソリスト、2003年7月にはPMFオーケストラのソリストとして、2004年には佐渡裕ヤング・ピープルズ・コンサートのゲストとして、全国各地で演奏。2005年サントリーホールで行なわれた「デビュー10周年記念コンサート」は満席となり大成功を収め、2008年～2011年には東京・大阪での同時プロジェクト「及川浩治10大協奏曲シリーズ」に取り組むなど人気・実力共に日本を代表するピアニストである。2015年2月にはテレビ朝日系列「題名のない音楽会」に出演し、ラフマニノフ「ピアノ協奏曲第3番」の熱演がオンエアされた。

国内外オーケストラとの共演も数多く、2013年モスクワ・フィルハーモニー交響楽団、2014年ベルリン交響楽団、2015年ロシア国立交響楽団の各来日公演にてソリストとしてピアノ協奏曲を共演。2015年11月にはブルガリアにてソフィア・フィルハーモニー管弦楽団定期演奏会に出演した。

ダイナミックな中に繊細さをも併せ持ち、内面にダイレクトに訴えかける及川の演奏は多くの絶賛の声とともに幅広い層の共感を得ている。児玉邦夫・幸子、吉本美南子、コンスタンティン・ガネフ、ジュリア・ガネヴァ、ジャン=マルク・ルイサダの各氏に師事。

CDはショパン、ベートーヴェン、リスト、ラフマニノフなどの作品集をリリースし、いずれも高い評価を受けており、『ベートーヴェン：悲愴、熱情、ワルトシュタイン』と『ショパン：バラード』は「レコード芸術」誌特選盤に選出されている。

現在、国立音楽大学客員教授、宮城学院女子大学音楽科特任教授。

及川浩治オフィシャルサイト　https://koji-oikawa.com



https://www.gcenter-hyogo.jp

兵庫県立芸術文化センター

Hyogo Performing Arts Center

先行予約会員へのご登録はこちら

便利なアクセス!!

大阪・梅田からも神戸・三宮からもホールまで15分

（阪急電車特急乗車の場合）

◎阪急 西宮北口駅 南改札口 スグ（連絡デッキで直結）

◎JR 西宮駅より徒歩15分（阪急バス7分）

※ご来場は、電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。

